

常任委員会報告

総務民生常任委員会

(3月3日開催)

1. 調査事項

(1) 町民健康づくり対策事業について

本町の疾病構造を的確に把握し、医療費を抑制する具体的な方策として、

- ・健康ウォーキング
- ・ウォーキング講座
- ・健康づくり啓発公演会
- ・食生活改善啓発

を実施し、町民の健康管理への意識を高める。また、高齢者等の病気や健康に対する健康管理の充実を図る。

2. 報告事項

(1) 次世代育成支援行動計画について

子育て世帯を取り巻く環境に対応して、こどもの健やかな成長と子どもが健やかに育

つことのできる環境づくりを目標に、今後5年間、新十津川町の子育て支援に関する総合的な計画として「新十津川町子育て支援行動計画（後期計画）」を定め、更なる事業の拡充を図る。



(2) 新・集中改革プランについて

- ・基本方針
- ・急速な社会経済情勢の変化や地域主権の進展等に対応し、自立性が高く、安定した行政運営を推進し、簡素で効率的な住民本位の行政サービスを実現する。
- ・計画期間
- ・平成22年度から3年間

(3) 平成21年度地域公共交通総合連携計画実証運行アンケートの調査結果について

- ・電話での予約がわずらわしい。
- ・乗降所（バス停）が遠い。
- ・パンフレットがわかりづらい。
- ・などの意見が寄せられた。

平成21年度の利用状況を分析した結果、一便当たりの利用者数が、多くても10人程度であるため、平成22年度の実証運行は「乗り合いタクシー」を主体とした運行形態を検討する。（有料運行）

経済文教常任委員会

(2月22日開催)

1. 調査事項

(1) 学校図書蔵書・利用状況

蔵書数	利用状況
小学校 2, 461冊	小学校 1, 845冊
中学校 1, 845冊	1年間の購入図書数
小学校 102冊	小学校 95冊
中学校 95冊	小学校では、国語の読書単

2. 報告事項

(1) 新十津川アートの森整備事業（旧吉野小学校）

- ・設置者 新十津川町
- ・施設名 アートの森彫刻体

元、社会・理科学習に活用、中学校では総合的な学習に活用。

今後、小学校では、分類看板、壁面展示の作成やパソコンで資料管理、貸出システムの導入。中学校では、大規模改修時に併せて、配架、書架分類・表示作成、パソコンで資料管理、貸出システムの導入。小中学校ともに望郷会からの寄贈図書の購入を計画。

(2) スクールバス運転に係る安全管理

- ・職員体制 職員4名、臨時職員1名の5名によるローテーション勤務
- ・勤務時間（休憩除く）6時間15分～10時間勤務
- ・安全管理 グループ会議週1回、始業時・終業時の安全確認、業務内容の再点検、定期健康診断の実施

・ 驗交流施設

・ 管理運営 指定管理者による管理委託

・ 改修内容

校舎1階及び体育館を改修（体験工房、収蔵庫、展示ギャラリー、事務所）

- ・ 開館期間 5月1日～10月31日まで
- ・ 改修費用 8,680万円
- ・ 改修に必要な財源
- ・ 補助金 2,100万円
- ・ 過疎債 4,870万円
- ・ 一般財源 1,710万円

- ・ 今後のスケジュール
- ・ 平成22年3月 条例制定
- ・ 平成22年11月 工事終了
- ・ 平成23年4月 開館準備
- ・ 平成23年5月 開館予定

※ 過疎債とは、元利償還金の70%を国からの交付税で措置され、町の財政負担を軽減する借金

(2) 平成22年度産米生産数量の確定について

生産配分面積	本町の生産配分数量
3,508畝	19,725t